

BM	G	O	P	T	C	T	D	H	D	L	A	F	S	H	A	コメント
																カローリーの多いものを避け、体重を落とすべく、
																夕食を和食中心に、運動を心がけてください。
																一時的に減らす
																つまみを食べながら、もの、野菜、まるもの、野菜を食
																事をよく食べ、飲酒の量を減らすべし
																外食の飲食を減らし、食物繊維の多い食品や加工食品をよく食
																べし
																夕食後は菓子や、ジュースを避け、減らすべし
																牛乳やヨーグルトの摂取量を増やすよう指導し、減らすべし
																ジュース類と菓子は食べ過ぎ、よければ、夕食後は減ら
																すべし
																飲食店での飲酒頻度を減らし、食物繊維を増やしてください
																持病や野菜をよく採り、夕食は量を減らし、和定食中心に減ら
																すべし
																持病や野菜をよく採り、菓子は和菓子に減らす
																持病や野菜をよく採り、和菓子やヨーグルトの摂取量を減らす
																よう指導し、減らすべし
																ジュース類を減らし、つまみは食物繊維の多いものを採るべし

BM	G	O	P	T	C	T	D	H	D	L	A	F	S	H	A	コメント
																肉を減らし、魚を多く取り、野菜もよく食べてください
																食物繊維、糖質50g以上増やすようにしてください
																減量野菜類、海藻類や大豆製品を多く採り、減らすべし
																夕食後は減らすべし、ジュース類は減らすべし
																夕食後の菓子や菓子の摂取量を減らすようにしてください
																つまみは牛乳やヨーグルト、野菜もよく採り、減らすべし
																減らすべし
																お菓子は減らすようにしてください
																食物繊維、野菜をよく採り、減らすべし
																一日の糖分の摂取量を減らすようにしてください
																減らすべし、減らすべし
																菓子は減らすようにしてください、減量野菜類や海藻類を多く採り、減らす
																べし
																一日の糖分の摂取量を減らすようにしてください

生活様式判定

		今回の生活様式				
		N	G1	G2	A	
前回の生活様式	N	N	G1	G2	A	
	G1	G1	G1	G2	A	
	G2	G1	G1	G2	A	
	A	G2	G2	G2	A	

検査値判定

		今回の検査値				
		N	G1	G2	A	
前回の検査値	N	N	G1	G2	A	
	G1	G1	G1	G2	A	
	G2	G1	G1	G2	A	
	A	G2	G2	G2	A	

最終判定

		今回の検査値判定				
		N	G1	G2	A	
前回の生活様式判定	N	N	G1	G2	A	
	G1	G1	G1	G2	A	
	G2	G1	G1	G2	A	
	A	G2	G2	G2	A	

平成15年度 厚生労働科学研究 ～HSISDとチーム医療

聖マリアンナ医科大学
須賀 万智

チーム医療の必要性

- 糖尿病治療の現状
 - ◆ 一般開業医に限られた医療資源を利用して
食事 運動療法を指導する
 - ◆ 一般的知識を伝達する
- 知識の確認、技術の指導、治療意欲の形成を
念頭においた指導が求められる
- しかし、スキルが乏しく、ひとりで賄いきれない



各領域の専門家による分担 “チーム医療”

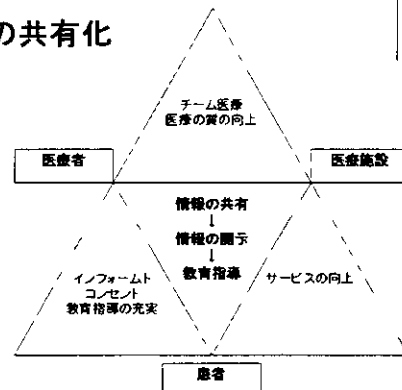
チーム医療を成功させる条件

- チーム構成員が各々の専門領域を分担する
- ひとつの統合された治療を協力して提供する
体制を整備する

情報の共有化
限られた医療資源の有効利用

地域ぐるみのIT化 ネットワーク化の推進

情報の共有化



HSISD

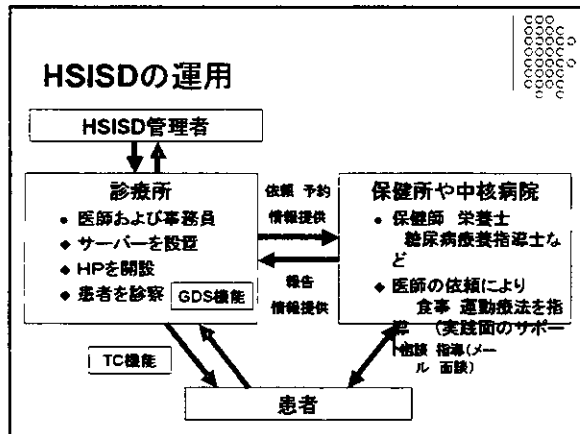
- 糖尿病患者の食事・運動療法を支援する
コンピュータ・システム
- (1) 食事・運動療法計画の作成
(Guideline Decision Support, GDS)
- (2) インターネットを利用したフォローアップと
実践的アドバイスの提供
(Tele-consultation, TC)

HSISDとチーム医療

- GDS機能
 - ◆ 医師の役割を支援
 - ◆ 基本情報や食事・運動療法の治療計画を共有する
- TC機能
 - ◆ コワーカーの役割を支援
 - ◆ TCのアドバイスを補足する
 - ◆ 得られた情報を治療計画の見直しや変更につなげる



チーム構成員が情報を共有できる環境を整備



- ### HSISDから期待される効果
- 地域を単位にしたチーム医療を推進
 - 診療所がコワーカーを共有
 - 限られた医療資源を活用
 - 優れた医療を提供
 - 病診連携を推進
 - 糖尿病診療レベルを向上

20031169

以降は雑誌/図書等に掲載された論文となりますので、
下記の「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。

「研究成果の刊行に関する一覧表」

インターネット技術を利用した個別介入による健康維持・増進プログラムの開発 HRA の手法を応用して(原著論文)

須賀万智, 吉田勝美

健康医科学研究助成論文集 18号 Page45-54(2003 03)

職域集団プロフィールサービスの開発(会議録)

須賀万智, 吉田勝美

産業衛生学雑誌 45 巻臨増 Page337(2003 03)

健康危険度予測 健診所見の読み方と対応

小川哲平, 猿田享男, 田村政紀

健診・人間ドックハンドブック